

## 令和4年度剣道四・五段受審者講習会 実施報告

一般財団法人長野県剣道連盟

### 1 はじめに

本年8月、日本国内における感染急拡大（第7波）に伴い、本県においては「医療非常事態宣言」発令（R4.8.8）により、県独自の感染警戒レベルが「6」に引き上げられました。その最中に開催いたしました行事の新型コロナウイルス感染拡大防止対策について報告いたします。

なお、本行事の開催に至った経緯については、過日（R4.8.24）通知しておりますので省略いたします。

### 2 行事名・期日・会場・参加者数

行事名：令和4年度剣道四・五段受審者講習会

期 日：令和4年8月28日（日） 会 場：長野運動公園総合運動場総合体育館

参加者：54名（受講者43名・講師4名・係員7名）

### 3 具体的な新型コロナウイルス感染症対策

本行事開催にあたっては、「長野県新型コロナウイルス感染症対策室」に事前に相談し、第7波の状況やオミクロン変異株（BA.5）の特性などをふまえ、以下の点に注意するように指導・助言を受けました。

- 参加者の動線を明確にし、一カ所に不特定多数の人が混在、密集しないようにする。
- 会場内は換気を十分に行う。
- 参加者同士フィジカルディスタンスを保ち、密集・密接しないようにする。
- 事前に参加者全員が健康観察（当日の検温を含む）して、体調不良の有無を確認する。
- 室内ではマスク着用、こまめに手指消毒、手洗いをを行うことを徹底する。

指導・助言の内容をふまえ、本連盟の「主催大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」「審査会開催における感染拡大予防ガイドライン」に基づき、以下の対策を講じました。

#### （1）環境面

- ・一般利用者との接触を避けるため、受講者専用の出入口を設けた。また、会場内の受講者の動線を制限した。
- ・講習会場内に受講者待機場所（一人あたり3m×3m）を設けた。
- ・会場内換気（空気の流れを保つ）のため扉・窓を可能な範囲で開け、工場扇（6台）を回した。
- ・入館及び受付場所にはアクリル板を設置した。
- ・講習会場入口やトイレなど各所にアルコール消毒液を設置した。

(2) 行動面（講習内容を含め）

- ・参加者全員に、「参加者確認票兼健康チェックシート」の提出（講習会 14 日前から健康観察及び入場時の検温と体調確認）を義務付けた。
- ・参加者全員に不織布マスク着用（二重）を義務付けた。
- ・手指消毒・手洗いの励行を呼びかけた。入館時は受講者一人一人の手指に係員がアルコール消毒液を噴霧した。
- ・受講者には、用のない限りは、各自の指定場所で待機するように呼びかけた。開講式、講話、閉講式は、受講者は各自の待機場所で参加した。
- ・更衣については、男性は待機場所、女性は更衣室利用とした。更衣室・トイレ利用時には「密」にならないように注意するように呼びかけた。
- ・講習内容は実技（通常の審査同様に 4 人 1 組を基本とした立会・時間は 1 回 1 分）を中心に行った。1 組に対して講師 1 名がつき、4 人全員の立会終了後に評価（講評を伝える）した。その際、講師と受講者、または受講者同士が密接しないように座席を配置（2 m 以上間隔を空ける）した。
- ・面着用時は「面マスク」「マウスシールド」着用を義務付けた。
- ・実技講習の後、一斉指導により日本剣道形（小太刀を中心に）を行った。他者との密接を避けるため、受講生は各自の待機場所で指導を受けた。

4 行事を終えて

受講中の体調不良者はなく、無事に終了することができました。また、講習会から 1 週間経ちましたが、現段階で参加者から体調不良を含め感染の報告は入っておりません。

当初の予定よりも日程を短縮し、実技講習（立会）を中心に実施しましたが、10 月に開催する今年度 2 回目の剣道四・五段審査会受審希望者を中心に、参加された皆様には大変熱心に受講していただきました。立会後は、担当講師から一人一人に対して丁寧な指導、助言があり、受講者からも好評であったように思います。

この度、本連盟「行事開催の扱い」について改定いたしました。本講習会実施をもとにして、今後の県連行事開催にあたって参りたいと考えています。また、各支部・加盟団体での活動におきましても、本講習会の内容を参考にさせていただきますようお願いいたします。

一般財団法人 長野県剣道連盟 副会長兼専務理事 常田 政邦 〒380-0844 長野市諏訪町 503 TEL 026-237-8939 FAX 026-235-8266
--